

福井ふるさと学びの森 若狭エリア 第2回体験イベント

「森の秘密基地を作ろう！」

- 1 日 時 平成28年7月17日（日）9：00～12：00
- 2 場 所 福井ふるさと学びの森（若狭町気山）
- 3 参加者 小学生親子等26名
- 4 講師 萩原 茂男さん（ふるさと研究員）
- 5 内 容

（1）竹ドームづくり

まず、講師の萩原さんが竹ドーム材料の作り方を説明しました。実際に萩原さんは「竹割り機」と呼ばれる特殊な器具を使って、4.7mほどの長さに切った1本の竹を一気に6分割していきました。今回の竹ドームづくりには、このように分割した竹が30本必要になります。

次に、割った竹の両端に穴をあけ、ひもでつないでいく作業を行いました。ひもを穴になかなか通すことができず、苦労している子もいましたが、家族で試行錯誤しながら作業を進めていました。

そうしてできたおよそ9mの竹を、星形に組み合わせていきます。基準としておかれた3本の竹に、竹のカゴを編む要領で他の竹を組み上げていきます。基準の竹の上を通すのか下を通すのか、四苦八苦しながらも星形になるように組み上げました。

いよいよ最後はドームになるよう参加者全員で竹を持ち上げます。みるみるうちにドームの形になっていき、大きな歓声が上がりました。



竹ドーム材料の作り方



材料運び



紐を使い、竹を組み合わせます



組んだ竹を星形に組み合わせます



みんなで力を合わせて持ち上げます



竹ドーム完成

(2) 竹についてのお話

完成したドームの中で、萩原さんから竹の構造や生態、特性、種類について、手描きのボードを用いた説明がありました。また、昔の人は里山で竹を増やし、利用していたこと、最近は竹の利用が減少し、竹害として問題となっていることについても、紙芝居を使用して参加者に判り易く説明しました。



竹の説明をする萩原さん



<参加者の声>

- ・竹を組み立てるのが楽しかった。また参加したい。
- ・みんなで力を合わせて、作ったり、建てたりするのが楽しかった。
- ・子どもよりも大人の方が楽しんだ。
- ・子どもも日頃学校では教えてくれないことを教わる事ができた。